

会議録（会議要旨）

会議名	第5回武蔵村山市内循環バス検討協議会
開催日時	平成19年10月26日（金） 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	301会議室
出席者及び欠席者	<p>（出席者）</p> <p>委員：加藤 敬成（小椋氏の代理者）、佐藤 達雄、金井 治夫、国田 正徳、斉藤 静子、高橋 薫、高橋 哲、中島 謙一、樋口 豊子、藤井 敬宏、副市長（敬称略）</p> <p>事務局：企画政策課長、樋口 雅秀</p> <p>（欠席者）</p> <p>委員：茂野 宏美、比留間 勉、牧野 和宏（敬称略）</p>
議題	<p>1 報告事項</p> <p>（1）第4回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>2 議題</p> <p>（1）市内循環バスのあり方について</p> <p>（2）その他</p>
結論	<p>報告事項</p> <p>（1） 第4回検討協議会の会議結果について決定した。</p> <p>議題</p> <p>（2） 第6回会議については、11月15日（木）午後1時30分から。 第7回会議については、12月19日（水）午後2時00分からに決定した。</p>
審議経過 （ は会長、副会長 委員、 は事務局）	<p>報告事項1 第4回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>事務局から「第4回市内循環バス検討協議会の会議結果」について説明。 この会議結果で、何か御意見御質問はありますか。 特になし。 それでは特にないようですので、承認されたものといたします。何かありましたら後日でも結構ですので、事務局へお願いいたします。</p> <p>議題1 市内循環バスのあり方について</p> <p>福祉会館バスは現在4路線あるが、循環バスと統一しようとした場合、不都合がでることがあるか。 福祉会館バスは送迎のためのバスと認識している。不都合は福祉会館バスのルートを通ると路線バスと競合する箇所が多い。また、福祉会館の乗り入れには新青梅街道を横断するようになっている。 ほとんどが福祉会館へ行く人に利用されているのか。 お風呂を楽しむことから、かたくりの湯へも乗り入れている。 福祉会館バスは無料か。</p>

無料である

福祉会館バスと循環バスを統合すれば、運賃は無料としなければいけないと思うが。現在の循環バスであればシルバーバスは利用できるが、均一運賃となるとシルバーバスの利用は難しい。

それぞれの資料の説明をお願いしたい。

資料5については、庁内で行っている市内循環バス検討委員会の試案を提示した。この資料はあくまでも協議会で検討するための一つの案として考えていただきたい。通勤・通学ルート、公共施設循環ルート、観光等集客ルート、交通空白不便地域の解消の4つの柱を基本とし、DCと市役所を交通拠点として乗継を基本とするルートとした。

資料6は、青については、従来の東西横断ルートを見直したルート、赤は玉川上水へ向かうルートをDCを拠点として東西に走らせるルートとした。

資料7は特に通勤、通学に力を入れた。西武線での通勤と中央線での通勤で便利なのは、玉川上水である。従来の東ルートを簡略化した。また、玉川上水からDCへ行きたい人も多いので経路としてDCの脇を通した。南ルートはよくわからないので、従来どおりとした。

資料8について、東西横断ルートの神明地区の代案としては、旧青梅街道なのだが、大橋は重量制限があるということなので、削除してもらいたい。体育館は乗り入れをすればいいと思う。岸三丁目もあったらいいと思うが、道が狭いので願望として記載させてもらった。

資料9について、全ての路線で乗継をするという考え方とさせてもらった。かたくりの湯を出て、青梅街道を南下せず市役所前を通る路線が一つ。また、武蔵砂川駅が危険であることから、立川市で利用している折り返し所を使ったらいいのではと思う。西地区は乗換ないといけないのが欠点である。上北台は路線バスが走っていないので、いじらない方がいいと思う。土日を合わせてDCが混むので、市役所の西側の通りを避けたほうがスムーズにバスが走れる。

委員の皆さんに説明していただいた。資料5は核となっている所は市役所、DC、かたくりの湯であり、ここを拠点として小ループで循環し、お互いを補完しようという考え方であるが、これを行うとすると、台数がプラスになってしまうが時間は短縮の方向になるのではと思う。資料6は核をDCにおいて東西ルートを中心とすることが見える。資料7はDCにあまりとらわれず、地域の特徴を捉えていると思う。通勤時間を短絡的に結べるようにということだが、運行時間は長くなりそうだと思う。資料8は、現行ルートの追加である。所要時間はそれほど長くはないが、西側は道路幅員も考慮に入れる必要がある。資料9は市の案を少し切り分けましょうということで、バスの乗換拠点を作ることにより、一運行あたりの時間を短縮するという路線の考え方である。提示していただいた資料全てが同じ発想ということはない。市が抱える問題点の中でどういう方向性でいくほうがいいのか皆さんと認識を高めていかなければいけない。自由な発想でフリーディスカッションをおねがしいたい。

通勤通学、公共施設循環、観光等、交通空白地域の4つの中で優先順位をつける必要がある。通勤通学と交通空白地域が上位にくるのかなと思う。

資料5の試案がいいと思うが、かたくりの湯に4路線入っているが、ここが始発ということでもいいのか。

あくまで起点は駅である。かたくりの湯は経由地である。

今のままでかたくりの湯に用事のない人まで行ってしまうことになる。かたくりの湯までバスで行く人は少ないので、割り切って市役所前で乗継にして、かたくりの湯への乗り入れは資料5の黄色ルート1本にしたほうがいいのでは。

西部地区は路線バスで武蔵砂川駅へ行く手段がない。朝だけでも武蔵砂川駅へ行ったほうがいいのでは。

西部地区は路線バスにより西武立川駅を使う人のほうが多いとのことから、庁内の委員会では武蔵砂川駅まで入れなくてもいいのではとの意見があった。

現状では、循環バスで武蔵砂川駅へ行ったほうが運賃が安いし、武蔵砂川駅までしっかりしたルートがあれば利用すると思う。今はそのルートがないので西武立川駅を使っている。朝の時間帯は武蔵砂川駅を使ったほうがいいと思う。

武蔵砂川駅の乗り入れについては、資料7のような考え方がいいのでは。

かたくりの湯へ行くバスは昼間は空いている。かたくりの湯へバスで行く人は少ない。乗用車くらいの車を回してあげればいいのではと思う。

従来のルートのように様々なところをグルッと廻ることに不便を感じている。

コミュニティバスは通勤だけでなく、公共施設を廻ることも必要である。バランスの問題である。

コミュニティバスは他のところでは通勤に重きを置いていない。いかに市内をくまなく走るかを基本としている。ただ、かたくりの湯へ乗り入れないとバスが旋回できない。コミュニティバスは日中を中心とした話である。それに通勤をプラスするというほうがいいのでは。

乗継を考えているようだが、どの程度なのかという問題もある。

かたくりの湯へバスで行く人が少ないのは分かるが、あそこで乗継ができれば安全である。市役所の前での乗り継ぎは道路を横断しなければいけない。

DCでの乗継では待っている時間に利用できることから、何も周辺にないのとは全然違う。

神明三丁目はいじらないほうがいいとの話をしたが、これから住宅がたくさんできるし、バスの利用率も高い地域だと思っている。神明はたいした問題ではない。冬の通行止めも1年に1、2回である。その場合は迂回してもいいと話をしている。

バス停から歩く距離は500mくらいと言われている。

市民の利便性をできるだけ高めて行きたい。

交通空白地域をいかに補完するかが必要である。

既存の路線バスが走っているのであれば、そこは路線バスに任せる。循環バスとうまく合わせることで、交通空白地域が減ってくる。

コミュニティバスが本来は市民サービスである。武蔵村山の特殊性もあるが、公共施設を巡ることも必要である。

昼間のバス利用を考えるとどういうところにニーズがあるのかを考えなければいけない。

資料5のルートでは、市民総合センターは市全域から利用する人が来るが、西部地区の人は行けなくなってしまっている。

直通では行けないが、乗継をしていくことができる。

体育館へ乗り入れていない理由は。

体育館は健康を維持するための施設であることから、多少歩くことも必要であろうということから乗り入れていない。

どうしてもはずせない公共施設をピックアップした方がいいのでは。

ルートを作る場合には、そういったことも必要である。市の特性をどのように解消するかが重要である。

通勤と日中を切り分けて考える必要があるだろう。公共交通がないのであれば、時間を区切って補完し、公共施設をうまく利活用できるようにする。

いろんな制約条件を踏まえた中で、朝の通勤交通を取り上げた場合、どのような形がいいのだろうか。

図面については、通勤のみのルートと日中のみのルートを分けたものを事務局に作成していただきたい。それをベースにメリットとデメリットも整理して議論していきたい。

全体の進め方として、いつまでに答申を出すということになるのか。

実証運行を来年度の早い時期にと考えている。このことから、来年の早い時期にまとめていただければと思う。

ここは是非ルートとして残したいということがあったらお聞かせいただきたい。

体育館の乗り入れはかたくりの湯と同じで盲腸線になる恐れがある。ルートが長くなるので厳しいのではと思っている。

市役所や病院はウエイトが高い。

体育館でイベントがあった時に不便であることから乗り入れてもらいたいとの考え方もある。

全体のバスルートの中で検討するというのも懸案として残っている。

その辺についても次回、たたき台の中で議論していただきたいと思っている。

玉川上水からDCへ行く人が循環バスにたくさん乗るため、他の人が乗れないということもある。商業的に成り立つ路線であることから、商業施設で運行すべきでは。

ルートがDC周辺に変わってきた。本来の利用者のニーズにあっていいのか。動市民の足をサポートしていくのかを協議会の中で議論していきたい。

DCの話が出ているが、市民の方もDCを利用していると思う。他市から来る人のバス利用になるからいらぬという話にはならないのではと思う。

市役所のそばで折り返しができる場所がないのかなと思う。

自転車駐車をバス停に作れば自転車でバス停まで来るのではと思う。

市内循環バスとしては自転車駐車場は設けていないが、市役所の北側やDC、市民総合センター等の施設に自転車駐車場はある。また、かたくりの湯のへ行く前にバスが折り返す場所があるかとのことであるが、立川バスが市民会館止まりのバスを運行していることから、市民会館東側に折り返し所がある。

DCへはほとんどが車で来るだろうが、バスを使う人もいるので、よく考えて設定

